

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	並木公民館施設提供事業	所管	教育委員会教育総務部 並木公民館
			Tel 2998-5911

事業の目的 (何の為に 行うか)	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り生涯学習の構築を目指す。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	68,555	人

活動の内容	(何を したか)	施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに18年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間制限)を設けている。							
	活動実績	項目名	年間利用可能区分数(公民館)	15698	項目名	年間利用区分数(公民館)	6437	項目名	単位
			単位 回			単位 回			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	22,820	21,046	32,319	95.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	80	41	51.3
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120712	TEL	2998-5911		
事業コード	並木公民館施設提供事業							
120722								
開始年度		昭和	58	年度	—	終了年度	平成	年度
グループ		並木公民館						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則				
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進事業)							
	総合計画の体系	政策	第4章 いまいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	2 社会教育機関の充実	小柱	(3) 公民館の整備・充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	地域コミュニティの拠点整備			コード	受益者負担の見直し		コード	事務改善活動等の充実・強化	
1221				3121			3621		
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のため、各種の事業を行うとともに、その施設を住民の集会その他の公的利用に供することとされている。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り生涯学習の構築を目指す。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	市民					公民館を利用した市民				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	62,211	人
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	68,555	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに18年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間制限)を設けている。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
施設管理に関しては、定期的に施設・設備の点検を行い、良好な施設提供に努めた。窓口業務の簡素化・効率化を図った。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		29,905	22,820	20,635
	決算(見込み含む)		27,762	21,046	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(1.20 人) (1.00 人)	(1.20 人) (1.00 人)		
	正規職員人件費	1.80 人	16,560	11,273	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費		24,291		
	事業費合計		68,613	32,319	
	財源内訳	一般財源	66,665	30,287	20,635
		国・県支出金			
		受益者負担金	1,948	2,032	
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			203.1	95.3	
利用数一単位あたり(単位:円)			1,102.9	471.4	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日は4区分で計算)	回	16656	15698	15904	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	7763	6437	7100	
	成果分析	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	目標値	80	80	80	80
実績				46.6	41	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
% 達成率				58.3	51.3	1		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	施設提供では、利用者にスムーズにご利用いただき窓口対応の向上を図っていく。施設維持管理に関しては、日頃の定期点検や計画的修繕など良好な施設の維持管理はもろんであるが、利用者側の指導にも努めていきたい。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	ロビー端末、インターネットによる利用申請の推進	80%	H21年3月	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
施設維持管理に関しては、建物の経年劣化等により、修繕個所が年々増加しているが、安全面等の観点から計画的に実施していく必要がある。					
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	館長 佐々木 葉子		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日								

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1262
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
主要課題	2ホムタウンとしての家庭・地域づくり					
施策の方向	6地域での交流機会の拡大					